

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5 年 3 月 31 日

事業所名 共生型福祉施設はびねすプラザ はっぴーきっず

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			・定員に合ったスペースはしっかり確保されており、共生で過ごせるスペースも兼ねている。 ・スペース的には特に問題ないと思われる。	
	②	職員の配置数は適切である	4			・配置基準を満たしています。 ・それぞれの役割の職員は配置されている。重要事項説明書の内容の通り。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			・施設全体がバリアフリーで段差なく車いすの方でも安全な移動等可能となっています。 ・共生型施設のスペース内で事業実施されているため、特に問題は見られない。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	2		・情報共有を職員間で行いながら支援者としての支援力を高めるようにしています。	各職員がそれぞれに共通認識を持って取り組むことができるよう、ミーティング時等利用し参画できる体制を作っていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1		・保護者のニーズや要望を考慮の上で今後サービスの質の向上に努めています。 ・昨年度より事業実施スタートのため、今年度より家族アンケートにも取り組み、業務改善に繋がられるよう行っている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している			4	・今年度中にホームページの開設を目指し、自己評価の公開を目指します。 ・今年度よりアンケート集計後公表予定としています。	できるだけ早急に公開できるよう努めていきたい。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	2	・第三者評価の実施はしていませんが、今後検討していきます。 ・今後第三者評価の実施により、業務改善につなげていく予定です。	まずは第三者評価の重要性を認識するとともに、第三者評価を受けることにより、業務改善の必要性を把握し、改善できるように努めていきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			・内部研修・法人内研修・外部研修を行いながら、研修を設けて行っています。 ・常に管理者が中心となり、資質向上のため内部・外部研修に取り組んでいる。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内 容又は改善目標
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			・個々に個別支援計画に基づいて対応しています。・児童発達支援管理責任者が中心となり、各職員が連携して最終的には計画が作成されている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		3	1	・現状としては行っていない。・独自のアセスメントツールを使用しているが、確認の必要性がある。	アセスメントツールの内容を確認していき、全般的に適合できるアセスメントツールを使用できるよう検討していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		・職員で共有しながら内容を検討し進めている。・日ごろのミーティングやスタッフ会議等において立案されている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1		・基本的な生活の流れはパターン化しながら、活動に関しては変化をつけるようにしている。・上記同様に、会議等において立案されている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3		・個々の特性や学年等もある中で、それぞれに行き届けるよう努めています。・特に長期休暇時においては、外出や課題取組等、できるだけ楽しみが見いだせるような支援を心がけている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		・個別としては、学校の課題や宿題の取り組み、集団ではリズム運動・レクゲームyなど静と動の活動を取り入れながら進めています。・子どもたちの個々の状態に合わせて、できる限り組み合わせ合わせた内容にて計画されている。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	4			・職員での打ち合わせを行いながら療育や活動が円滑に行えるようにしています。・日頃の業務状況により、共生型という点からも打ち合わせができない場面が時々見られるため、昼食後の時間を利用して確実にやっていく。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			・支援の振り返りは翌日等に行い、次に生かせるようにしている。・送迎終了後のミーティング時に基本的には行われている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・日々の様子を個別支援計画に沿って記入するようにして支援に繋げられるようにしている。・基本的にケース記録により状態を記載しているとともに、連絡帳により家族との状況把握についても行われている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内 容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	4			・個々の計画に基づいて児童の 様子や取り組み姿勢を見ながら 行っています。・児童発達支援 管理責任者が中心となり、各職 員が連携して最終的には必要 性について全体で判断してい る。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている		4		・子ども自身が見て・触れて・体 験して考えられる活動を大切に しながら支援しています。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	3	1		・児童発達支援管理責任者また は管理者が入るようにしてい る。・基本的には児童発達支援 管理責任者が参加しているが、 状況に応じて管理者や必要職 員が参加している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	4			・学校の先生とのやり取りや保 護者様との連携を図りながら実 施をしています。・年度開始前に 学校との連絡調整にて、確実に 行われている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		2	2	・医療ケア児の受け入れは、施 設内に看護師は在中しているも の、体勢的な面からも今現在 は行っておりません。	医療的ケアが必要な児童に関して は、その都度主治医に確認し、適切 に対応可能なよう、連絡体制の構築 を行っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている		3	1	・連携を多く図りながら、共有で きるよう進めていきます。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している		1	3	・現状各小しかおらず、高等部 など卒業される利用の方が今後 いる場合は情報提供を行ってい きます。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2	1	1	・今後連携を図るよう努めます。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	1	1	2	・現状としてはないですが、法人 内事業所(保育園、障害児・者 施設、老人ホーム)等世代間交 流の場があります。 ・現在は特に行われてはいない ものの、当法人内の放デイ等と の交流を図る機会を作っていく 予定です。	今後他放デイ等との交流会(ゲーム やレクリエーション等)の実施が行え るよう検討していきたい。
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に 参加している	1	2	1	・自立協主催などの研修の場を 通じて、参加するようにしてい ます。 ・自立協への直接の参加は実 際はないが、自立協主催の研 修会には参加している。	自立協の重要性を認識するとともに、 今後行われる研修等に対しては、積 極的に参加できるよう行っていき たい。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	4			・保護者様とは、家庭や学校で の様子などを共有しながら共通 認識を持って行っている。 ・連絡帳を用いて情報交換を主 に行っている。また、送迎時等 において情報交換も合わせて 行っている。		
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている		2	2	・研修会への参加を予定して おり、活かしていきたいと考えて いる。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内 容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1		・ご家族様にサービスや支援が具体的にわかりやすく伝えられるよう丁寧な説明を心がけている。 ・契約時、契約書並びに重説の内容について丁寧に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1		・保護者様が気軽に相談できる雰囲気や心がけ、必要に応じて助言できるようにしております。 ・担当者会議や送迎時等その都度お話をし、必要な助言等は行われている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	3	・現在は行われてはいませんが、要望があれば検討を行っていきたく考えています。 ・現状、保護者会等の活動実施は実績がないため、今年度より検討を行っていきたく。	今後利用状況を確認していただける、保護者参観や、保護者合同士の交流の場を設けることができるよう検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1		・現状としては、保護者や児童からのクレームは寄せられていませんが、あった場合には事業所内に設けている苦情体制窓口を通じて迅速な対応・改善を図ります。 ・契約時、重説内で苦情処理についての説明は行い、迅速な対応を心がけている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			定期的に活動の内容や子供の様子がわかるように「きつず広報」を保護者へ配布しています。また、日々連絡帳を通して把握しています。 ・基本的に定期的に広報誌を作成し、日頃の活動や行事等について、写真や文書にて発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	4			・個人情報取り扱いと同意書の同意に上で厳重に取り扱うようにしています。 ・契約時「個人情報保護に関する同意書」にて説明、同意をいただいております。常に個人情報保護については注意している。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・わかりやすく話をする様に心がけて対応しています。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	2	・新型コロナウイルス感染にため、活動を自粛して行っており、現状行われていません。コロナ解禁時期を見ながら、地域と交流を持った共生型事業所としていきます。 ・コロナの関係もあり、地域支援や地域活動等への参加はほとんどなされていないが、今年度より地域活動等への参加を検討していきたい。	コロナ関係が収束してきたところで、地域行政区長や民生委員を中心に対外行事を計画し招待できるような体制作りを行っていきたくと考えている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1		・法人(事業所)マニュアルに沿って、職員は定期的に研修を実施し、周知しています。保護者様も緊急の場合はお伝えしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			・定期的な避難訓練を実施しています。 ・年間事業計画にて計画通り年2回の避難訓練を含めた訓練はなされている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・内部研修を実施し、職員一同で周知徹底を図るようにしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		・身体拘束をする児童はいますが、安全な対応を図りながら、支援しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1		・食物アレルギーの児童は現在いませんが、有る場合は、保護者に医師からの診断書提出をお願いします。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			・事業所全体で集計・分析しながら、話し合いを行い、安全意識を高めています。 ・その都度ヒヤリハットを提出するとともに、職員周知はなされている。		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。